

特集

成田為三 生誕120周年

渡邊喜恵子 生誕100周年

北秋田市の広大な土地には、美しい自然や風土、素晴らしい歴史や文化が数多くあります。この環境の中で育まれた先人たちが世に残した輝かしい業績を後世に残し、受け継いでいくため、今年節目の年を迎えた先人たちを紹介いたします。



成田為三

郷土が生んだ日本を代表する作曲家

成田為三の生涯

明治26年12月15日に旧米内沢村で生まれた成田為三は、20歳まで小学校の教員として秋田で過ごし、その後上京。東京音楽学校（現在の東京藝術大学）へ入学しました。

童謡「赤とんぼ」などの数々の作品を生み出した作曲家・山田耕筰に教えを受け、在学中の大正4、5年頃に代表作「浜辺の歌」を作曲。また大正8年には、児童雑誌「赤い鳥」に掲載された「かなりや」の詩を作曲したことで作曲家として一躍有名になりました。その後、27歳のときにドイツへ留学し、そこで学んだ作曲技術をもとに数々の輪唱曲や合唱曲を作曲しました。

立音楽学校の教授なども務めながら数々の名曲を生み出しましたが、昭和20年4月に空襲で自宅が焼失し、多くの作品を失いました。そして、同年10月29日、51歳で脳溢血により急逝し、遺骨が米内沢の龍淵寺に埋葬されました。

成田為三がこれまでに生み出した名曲の数々は現在も歌い継がれており、音楽理論に長けた本格的な作曲家としても知られています。

浜辺の歌音楽館

浜辺の歌音楽館は、昭和63年8月10日に開館しました。1階にはリスニングルームが3室あり、音楽や解説をじっくり聴くことができます。2階には、成田為三そっくりの口ポットとピアノがあり、「浜辺の歌」



▲昭和63年に開館した「浜辺の歌音楽館」には、多くの音楽ファンが訪れています

歌い継がれるメロディ 浜辺の歌音楽祭

今年は、成田為三の生誕120周年と浜辺の歌音楽館の開館25周年にあたることから「第8回浜辺の歌音楽祭」において、さまざまな団体による成田為三の作品を中心とした合唱曲が披露されるほか、プログラムに特集ページを設けて生涯と作品を紹介いたします。また、今後行われる「第87回定期演奏会」においても記念演奏を予定しています。

■第8回浜辺の歌音楽祭
期日 11月2日(土)
時間 開演10時(開場9時30分)
場所 市文化会館 入場料 無料
生涯学習課 ☎62・6618



▲浜辺の歌音楽館には成田為三の直筆の楽譜や思い出の品が展示されています



渡邊喜恵子

故郷を思い続けた直木賞作家

渡邊喜恵子の生涯

大正2年11月6日に仙北郡檜木内村（現在の仙北市）で生まれた渡邊喜恵子は、木材商であった父の仕事の関係で、3歳のときに木材の集積地であった鷹巣に転居しました。鷹巣尋常小学校卒業後、旧制県立能代高等女学校（のちの能代北高等学校）に入学。文学に関心を持ったのがこの頃で、翻訳小説や長編小説を読みあさったそうです。

昭和6年に女学校を卒業すると、花嫁修業のため上京。同10年には画学生だった渡邊茂と結婚しますが、4年後に夫を病気で失います。

このときに亡き夫への思いなどを原稿用紙に綴ったものが、処女作の短編集「いのちのあとさき」として昭和17年に出版されました。同19年には、空襲の激しくなった東京から母親のふるさとである岩手県福岡町（現在の二戸市）に疎開し、のちに直木賞を受賞する小説「馬淵川」の執筆に取り掛かります。終戦後は再び上京し、同人誌の編



▲直木賞受賞作「馬淵川」

集を手伝いながら創作活動を続け、昭和24年に商業写真家の木下利秀と再婚。この頃には紙も出回り始めて出版事情も良くなり、いくつもの同人誌に小説を発表し、同34年の45歳のときに小説「馬淵川」を刊行。秋田県では初めての直木賞受賞者として、当時大きな話題となりました。

その後、数々の作品が映画化やドラマ化されましたが、小説「みちのく子供風土記」の映画化の際には、鷹巣と合川で撮影が行われたものの、企画会社の資金繰り悪化のため、発表されず、まぼろしの映画となりました。また、新人作家の登竜門「さきがけ文学賞」創設のために寄付をするなど、今日の文学者の育成にも尽力しましたが、平成9年8月8日、83歳でその生涯を終えました。

みちのく子供風土記館

みちのく子供風土記館は、渡邊喜恵子から寄せられた寄付を基金に当時の鷹巣町が建設し、平成元年11月1日に開館しました。

建設場所は、鷹巣が舞台の小説「みちのく子供風土記」に登場する「要の原つば（現市文化会館敷地）」で、建物も土間やケヤキの大黒柱、いろりなど、小説の時代背景である大正末期がイメージされています。また、玄関口には親交のあった陶芸家・神成澤が制作したステンドグラスと陶壁が展示されています。

使用時間 午前9時～午後9時30分
休館日 水曜日、12月29日～1月3日
使用料 使用状況により異なるため、問い合わせください
文化会館 ☎62・3311



▲子どもたちに昔の遊びや生活を伝える場として建設された「みちのく子供風土記館」

当時の作品を読み 人と時代を知る

今年、渡邊喜恵子の生誕100周年にあたります。これを記念し、出版物や写真などの展示、特別講演会が行われます。

■渡邊喜恵子生誕100周年記念展
展示期間 11月1日～平成26年3月23日
展示時間 午前9時～午後5時
展示場所 文化会館 入場料 無料
休室日 水曜日、12月29日～1月3日
生涯学習課 ☎62・6618

■劇団文化座俳優「阿部勉」特別講演会
日時 11月9日(土) 午後2時から
場所 みちのく子供風土記館
講師 阿部 勉(劇団文化座俳優)
演題 直木賞作家渡邊喜恵子氏について
入場料 無料(先着80人)※11月1日(金) 午前9時から、市文化会館事務室で整理券を配布します
文化会館 ☎62・3311



▲渡邊喜恵子の著書は、刊行から時間が経ちほとんどが絶版となっており、図書館などでしか読むことができなくなりました